

■藤原宇合 公卿。不比等の三男。兄のもと東奔西走、〈疫病大流行〉で兄弟と殆ど同時に没した。式家の祖。

ふじわらのうまかい

藤原京遷都・ 694＝ 不比等の三男。母は右大臣蘇我武羅自古の女石川朝臣娼子。名はもと馬養に作る。

持統天皇没・ 702＝ 7歳：
・ ・ ・ ・ ・ 703＝ 9歳：

・ ・ ・ ・ ・ 706＝12歳：文武天皇の難波行幸に従った時の歌1首が「万葉集」にみえる。

平城京遷都・ 710＝16歳：

古事記完成・ 712＝18歳：

光子入内・ 716＝22歳：*遣唐副使に任じられ(押使は多治比県守)，正六位下から従五位下を特授の後，
行基活動禁圧 717＝23歳：_入唐し，
養老律令・ ・ 718＝24歳：_帰京した。
・ ・ ・ ・ ・ 719＝25歳：正五位下に昇叙し，さらに常陸守正五位上で安房・上総・下総国を管轄する按察使となった。
藤原不比等没 720＝26歳：
長屋王右大臣 721＝27歳：_長屋王の右大臣就任に伴って，一挙に正四位上に昇叙，

聖武天皇即位 724＝30歳：海道の蝦夷が反して陸奥国大掾が殺害されると，式部卿持節大將軍として征討に当たった。
・ ・ ・ ・ ・ 725＝31歳：征夷の功で従三位・勲三等を授けられ，
行基山崎橋・ 726＝32歳：式部卿従三位で知造難波官事となり，造営工事を遂行した。この時期に詠じたとみられる歌1首がある。

長屋王の変・ 729＝35歳：_長屋王の変に当って，式部卿宇合らは六衛の兵を率いて，長屋王の第を囲む。
・ ・ ・ ・ ・ 730＝36歳：
・ ・ ・ ・ ・ 731＝37歳：*ほかの5人とともに参議に起用されて議政官の座に就いた。畿内に惣管，諸道に鎮撫使が設けられると畿内副惣管となり，
遣唐使9 ・ ・ 732＝38歳：西海道節度使に任じられ，その在任中に西海道諸国が対外防備にあたる際の警固式を作ったという。
風土記完了・ 733＝39歳：舍人親王らとともに，薨じた正三位橘三千代の第に遣わされ，従一位を贈っている。
・ ・ ・ ・ ・ 734＝40歳：*正三位に進み，

_式部卿兼大宰帥となったが，
藤原四卿没・ 737＝43歳：*天然痘の流行により，房前，麻呂，武智麻呂につづいて没した。
「懷風藻」に五言詩4首と七言詩2首，「経国集」に費賦1首。広嗣，良継，百川らの父で，式家の祖となる。